

あおぞら

第64号



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長
【High Growth】

目次

- 前期看護研究発表会が開催されました。…………… 2
- 第4回長崎県看護学術集会学会賞受賞 …………… 3
- 固定チームナースング長崎地方会開催のご案内… 3
- 部署紹介…………… 4
- 外来エリアの一部が移設しました！…………… 5
- NEW FACE/バスケットボール同好会紹介/防災訓練 …… 6
- 私の娯楽『ロックハウন্ディング』…………… 7
- 外来週間診療予定表…………… 8

特定医療法人

前期看護研究発表会 が開催されました。



7月22日(金)に当院看護部における2022年度前期看護研究発表会が開催されました。

年に2回開催しておりますが、コロナの影響により、昨年度の看護研究発表会や院内研究発表会、成果発表などは、感染対策をとり少人数開催、紙面発表や掲示形式発表になりました。

今年度もコロナ感染拡大に伴い、ラダー別研修やスキルアップ研修(ICN講師)も延期やオンライン研修となる中、管理者やスタッフの協力もあり、ハイブリッド方式(会場参加+ZOOM)で開催する事ができました。発表者・評価者・管理者は8階会議室、他の参加者は7階職員食堂及び7階研修室、各部署でIPADなど端末を活用した形式で参加をしました。尚、休日のスタッフも視聴・参加できるようにアドレスを通知しました。

発表は下記の3演題で、参加者総数は98名でした。

- ①当院透析患者のフットチェックの現状把握 血液透析室 松永 大輔
- ②ATP測定法によるスタッフルームの汚染の程度及び看護師の意識調査 北4階 荒木 萌
- ③入退院を繰り返すセルフケア困難な心不全患者への支援 一再入院までの期間延長が出来た一事例一 南4階 薬王寺 萌香

発表者の皆さんは練習を積み、緊張の中、堂々と発表(プレゼンテーション)されており、質問にも的確に答えていました。看護研究のプロセスを通してスタッフの成長が伺え、とても頼もしく感じました。良い経験になったと思います。

長引くコロナ禍でも、研修や発表会の計画を中止するだけでなく、人材育成には機会を生かす事だと考えます。日々の多忙な業務の中で看護研究を行い、院内外に発表をする事は大変ですが、とても大切な事だと思っております。

看護職にとって、生涯にわたり学び続け資質向上を図ることは、専門職としての責務であり、保健師助産師看護師法や看護職の倫理綱領においても明示されています。

毎月看護研究の指導をしていただいている長崎大学の先生を講師とした、看護研究の研修も今年度は3回シリーズで企画しております。

ウィズコロナ時代、光晴会病院看護師として医療・看護の質向上を目指し、今後もスタッフの生涯学習支援に取り組みたいと思います。

教育委員長 藤本真一

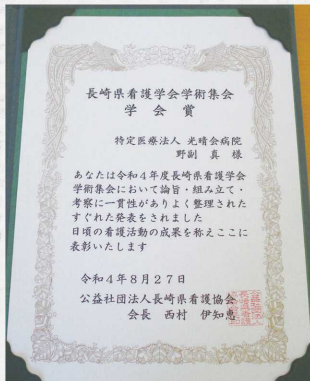


第4回長崎県看護学術集会学会賞受賞

8月27日に令和4年度の長崎県看護学術集会に出席し「学会賞」を頂くことができました。演題は「透析患者への導入期指導の検討～効果的な指導方法の見直し～」でした。今回の発表を通し、限られた透析時間の中で導入期指導をタイムリーにかつ効果的に実践することの難しさを改めて実感しました。

今後はさらに患者さんの高齢化や認知機能の低下に伴い、患者さんを支えるご家族や多職種との連携がこれまで以上に必要と感じました。患者さんの行動や声に耳を傾け、制限された生活の中でストレスを少なくできるように工夫し、安全で安心できる透析ライフを支援していきたいと思えます。

中田 ゆかり / 野副 真



固定チームナーシング長崎地方会開催のご案内

当院の看護提供方式は、固定チームナーシング（一部機能別も併用）にて実践しています。固定チームナーシングは患者さんに一定水準の質の高い看護サービスをチームで継続性をもって提供することを目指しています。

具体的には年度当初の看護部目標に沿って部署目標を設定し、さらにその目標達成に向け年間のチームリーダーやメンバーを固定した小集団グループで看護活動に取り組んでいます。

今回、固定チームナーシングの年間の成果発表の場である長崎地方会を、初めて光晴会病院が担当し、2022年11月12日（土）にハイブリット（集合+オンライン）形式で開催することになりました。

固定チームの良さなど成果を共有し活発な意見交換の機会となりますよう、事務局担当として努めたいと思えます。

第10回 固定チームナーシング長崎地方会

責任と継続性のある看護

～小集団活動の成果を共有しよう～

オンライン開催

日時	2022年11月12日(土) 13:30～16:00
場所	光晴会病院 〒852-8053 長崎市葉山 1-3-12
参加費	1,500円
申込方法	別紙「参加申込用紙」を Faxでお送りください
お問合せ先	長崎地方会事務局 光晴会病院 責任者：藤本 真一 看護部長：増田 千代子 TEL：095-857-3533 Fax：095-857-2572 ✉：kangobu@kousekikai.org

プログラム

13:30	開会式
13:40	第1部成果発表
14:15	意見交換
14:45	休憩
14:55	第2部成果発表
15:30	意見交換
16:00	閉会式

【アドバイザー】
固定チームナーシング研究会名譽会長 西元 勝子先生
固定チームナーシング研究会会長 北津 洋子先生
看護組織開発研究代表 杉野 元子先生

部署紹介



光晴会病院 臨床工学科です。久しぶりの「部署紹介」の登場となります。

現在、13名(男子:9名 女子:4名)の技士で60代1名、40代3名、30代4名、20代5名で、平均年齢35歳の部署で、『カンニングをしなくても100点』の医療機器提供をモットーに、患者さんの安全・安心を第一に考え、業務を遂行しています。



現在の業務範囲は、「呼吸器治療業務」「人工心肺業務」「血液浄化業務」「手術室業務」「心血管カテーテル業務」「ペースメーカー/ICD業務」「医療機器管理業務」「内視鏡業務」「医療ガス管理業務」を行っています。

さて、令和3年厚生労働省令第119号(2021年7月9日交付)で『臨床工学技士法施行規則の一部改正』が決められました。

この法令の趣旨としては、適切な医療を効率的に提供する体制を確保するために、医療関係職種の仕事範囲の見直しとして「タスクシフト/シェア」を推進して、医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を活かせるよう各職種の業務範囲の拡大等を行うというものです。

簡単に言うと、臨床工学技士の業務範囲が広がると言うことです。

業務内容の詳細は省きますが、今後ますます医療現場での臨床工学技士の需要が高まり、活躍が期待されると思います。



話は変わりますが、1人の女性が、臨床工学技士を志すきっかけとなった物語を紹介します。今年度当科に入職してきた女性のお話です。10年前、当時中学2年生だったその女の子は、光晴会病院に職場体験に来ました。各部署を見学する中で、当臨床工学科にも3名の若人がやってきました。当時当科のスタッフは、男性8名、女性1名の9名で業務を行っており、当科唯一の女性スタッフに担当をお願いしました。医療機器を扱う業内容からまだまだ男性市場のイメージが強い職種でありましたが、その女性スタッフと業務紹介のビデオを見たり話をする中で、女性でもキラキラと活躍できる仕事なのだと感じたそうです。そして10年後、あの時中学生だった女の子は、臨床工学技士として光晴会病院に舞い戻り、私たちの仲間となりました。以上、胸熱エピソードのご紹介でした！



外来エリアの一部が移設しました！

» 「生理検査室」・「大腸肛門機能検査室」が完成

1階の旧薬局に生理検査室、大腸肛門機能検査室が完成し2022年8月8日から稼働しています。

生理検査室では心電図、肺機能、呼気NO、ABI、SPP、心臓エコー、血管エコー、乳腺エコー、甲状腺エコー、腹部エコー、トレッドミル、ホルター心電図などの検査を行っています。

これまで生理検査は1階に超音波検査室と心電図室、4階に循環器検査室と3カ所に分かれて検査

を行ってきました。そのため患者さんの導線が悪く複数の検査がある場合3カ所を回る患者さんもいました。

生理検査室として1カ所にまとまる事で患者さんの導線もよくなりました。

大腸肛門機能検査室ではプライバシーが保たれた個室空間で直腸肛門内圧検査、肛門筋電図検査、直腸バルーン感覚検査や直腸肛門内圧検査機器、肛門筋電図検査機器を用いたバイオフィードバック療法（便漏れ、便秘の患者さんに対する訓練）、バルーン排出訓練を行っています。

近年日本において、便秘や便失禁といった排便障害の有病率が増加傾向にあります。我々臨床検査技師は排便障害ケアチームの一員として検査や訓練を通じて少しでも患者さんの力になればと思っております。



» 「入退院支援室」を開設

旧心電図室のあとに、「入退院支援室」を開設しました。

患者さん、ご家族が安心して入院していただけるよう、ゆっくりお話を聴くことのできる環境が整いました。





①氏名 ②診療科 ③出身地
④趣味/特技 ⑤自己PR

医師



- ①伊藤 信一郎(いとう しんいちろう)
- ②外科
- ③長崎
- ④ゴルフ
- ⑤消化管手術、特に腹腔鏡手術をやってきました。質の高い医療を提供できるよう頑張ります。皆様よろしくお祈いします。

バスケットボール 同好会紹介!



私たちバスケット同好会は「みんな楽しく！」をモットーに、月に2～4回程度行っております。最近ではコロナ禍のため感染拡大状況との兼ね合いで不定期ではありますが、日々のストレス発散・体力向上・運動不足解消を目的に行っています。院内の職種問わず経験者の方ももちろん、未経験者の方も多数参加しています。コミュニケーションもたくさん取れてサイコーです！興味がある方は北4階病棟の山口まで連絡ください！



防災訓練

2022年7月8日に防災訓練が行われました。今回は私たち南4階の新棟デイルームからの出火という設定でした。夜勤帯の出火という設定のため、配置スタッフは4名。その状況で病棟から出火となると安全かつ迅速な非難誘導を行わなければなりません。私たちは初めて消防訓練の担当になり、当初はシナリオを覚えるのに必死でした。そのため本番までシミュレーションを3～4回行い、どこまで声が届くか、どこに消火器が設置しているか、排煙窓の開け方などを確認しました。すると、「本当の火災の場合はこうするのではないか?」「どのようにしたら迅速に誘導できるか?」など活発な意見交換となり、本番当日は大声での誘導や応援者への指示が4人とも自然な行

動になっていました。火災に遭遇した時、動揺せず行動するためには今回のような定期訓練が必要である事を実感しました。

今回の防災訓練で学んだ事を忘れず「もしもの時」に役立てたいと思います。

南4階病棟 岩下・鈴木田・岩村



私の娯楽

ロックハウন্ディング

顧問 岩永亮

こんにちは。当院顧問の岩永です。知らぬ間に年だけ重ね、日々、我儘で性急になっているような気がする今日この頃の私、皆様、いかがお過ごしでしょうか。今回は、コロナ禍にあっても、欲望を満足させてくれる私の娯楽についてお話しします。

休日の私は、人ごみを避け、県内の海岸や山肌をリサーチしながら、鉱物を探しています。これが私の娯楽「ロックハウন্ディング」です。皆さんには全くなじみのない言葉で



しょうが、ただの「石ころ拾い」のことなのです。必要なのは、磯や山道を歩ける体力と小石を見逃さない視力です。

注意事項は、他人の土地には決して無断で立ち入らないことです。

幼い頃から地質、鉱物等に興味があった好奇心旺盛な少年が、60歳を過ぎた今、地質マニアとして、残された体力を消費し、県内の地形、地質を観察しながら綺麗な鉱石や化石を探し彷徨っています。

長崎では中生代の地層から恐竜の化石も発掘されていますから、場所によっては貝などの化石が簡単に見つかりますし、西彼半島の山々では、あちこちに鉱山跡もあり、結晶が1ミリ成長するの



に100年かかるといわれる水晶のほか、綺麗な八面体をした磁鉄鉱の結晶などを見つけること

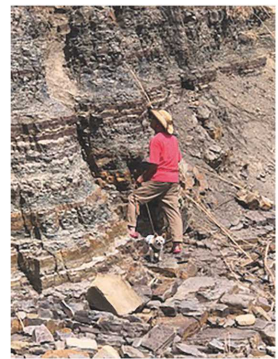
ができます。特にクリスタルな水晶の結晶は、小さくとも欲望をそそり、たとえ蜂がいようと蚊に刺されようとも、大汗かきながら気にせず探すのがマニアの性なのです。



また、島原半島のとある海岸では、気が遠くなるほどの年月をかけて、キャラメル色やワインレッド色に石化した珪化木という木の化石が打ちあげられています。そこでは干潮時には岩礁に針葉樹系の種子の化石も見受けられ、それをみた地質マニアは海岸に佇み、天草灘を眺めながら、「多分、このあたりは太古の昔は針葉樹林だったのだろう」と語るのです。

さて、次なる欲望はと申しますと、「メノウ」です。英語でアゲート、漢字で書けば「瑪瑙」です。長崎県でメノウといえば平戸です。地質マニアとしては、日本最西端の地、小佐々の海岸で「さざなみ」や「巻貝」の化石を観察した後、平戸に渡り、とある海岸でメノウ、なかでも綺麗な縞メノウを見つけるのです。

ついでですが、私のロックハウন্ディングの様子は、インスタに絶賛投稿中です。ユーザーネームは秘密で、プロフィールも明かしておらず、石ころがメインで登場するなど「映え」には無縁のマニアックな世界を見ることができます。世界に発信する都合上、ハッシュタグは英語とさせていただいています。



以上、全く興味もわからない話に、最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

外来週間診療予定表

2022年10月1日～

	月	火	水	木	金	土
内科	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	
	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	むらた ともや 村田 朋哉 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	
	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	さわせ あつし 澤瀬 篤志 (腎・一般)	はらだ ようすけ 原田 陽介 (呼吸器)	むらた ともや 村田 朋哉 (消化器)	はらだ ようすけ 原田 陽介 (呼吸器)	
	(非常勤) たうら なおた 田浦 直太 (一般)	なりた しょうへい 成田 翔平 (消化器)	だて まさひろ 伊達 雅浩 (腎・一般)	なりた しょうへい 成田 翔平 (消化器)	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	
					むらかみ たつき 村上 達樹 (腎・一般)	
循環器内科	こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひろ 石崎 正彦		こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひろ 石崎 正彦	
心臓血管外科		さとう ひし 佐藤 久		こが ゆういち 古賀 佑一		
泌尿器科	さかい すずな 酒井 すずな	やまさき やすと 山崎 安人	さかい すずな 酒井 すずな	大学医	やまさき やすと 山崎 安人	
外科	おかだ かずや 岡田 和也	おかだ かずや 岡田 和也	いとう しんいちろう 伊藤 信一郎	すす せいや 進 誠也	すす せいや 進 誠也	
	すす せいや 進 誠也	みぎた かずしげ 右田 一成	きしかわ ひろき 岸川 博紀	みぎた かずしげ 右田 一成	いとう しんいちろう 伊藤 信一郎	
	きしかわ ひろき 岸川 博紀	(非常勤) えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	(非常勤) えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	きしかわ ひろき 岸川 博紀	(非常勤) もりうち ゆき 森内 由季 (形成外科)	
【午後】 14:00 ～ 16:00		さわせ あつし 澤瀬 篤志 (腎臓病疾患専門)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓病疾患専門)	(非常勤) しみず としまさ 清水 俊匡 (リウマチ専門)		
【午後】 心臓血管外科 13:00 ～ 15:00		さとう ひし 佐藤 久		13:00～16:00 さとう ひし 佐藤 久 こが ゆういち 古賀 佑一		
糖尿病センター 9:00 ～ 12:00	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	
	かわはら ひろみ 川原 仁美	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳 フットケアー	せら やすのり 世羅 康徳	

※ 診療科目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前8：30より 午前11：30まで **予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。**

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：境(南3階) 浜口(北4階)

岩田・宮本(外来) 田中(血液透析室) 山本(中材)

坂本(臨床工学科) 下田(総務課) 金子(顧問)

特定医療法人 光晴会病院

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

http://www.kouseikai.org/